

のんのつうしん

2015夏号～病児・病後児保育室「のんの」発行



北海道にもやっと夏がやってきましたね！今年は5月に暑い日が続いたり、6月にストーブが必要なほど寒かったりと寒暖差が激しく体調を崩した方も多かったようです。

これからは行楽シーズン本番です！早寝・早起きを心掛けて、楽しい夏を過ごしましょう！



夏に流行る感染症～こんな時は要注意！！

夏になると、暑さによる脱水や不眠、食欲不振などで、体力が低下し病気になるかかりやすくなります。特に小さなお子さんは感染症にかかりやすくなります。注意が必要です！今回、夏に流行る4つの感染症の特徴を紹介します。お子さんが不調の時は参考にしてください。感染症の疑いがある時には無理をさせず、学校や保育園等はお休みさせましょう。早めの受診を心掛け、必要な場合は「のんの」もご利用頂けますのでまずはご連絡下さい。

①ヘルパンギーナ

急な高熱(39℃前後)と咽頭・口内上顎の奥粘膜に小さな水疱。破裂し潰瘍状になることも。食欲低下・嘔吐。5歳未満の乳幼児に多い。

②手足口病(今年、流行の兆し！！)

手・足・口(乳幼児は肘・膝・尻にも)米粒ほどの水疱性発疹。破れると潰瘍になり痛痒い。口内にできると痛みで食事が困難になり脱水症状が起きることも。発熱・下痢・嘔吐。嘔吐や頭痛が続いている場合は心筋炎や髄膜炎を合併している可能性有り。

③咽頭結膜炎(フール熱)

急な発熱(38～40℃)のどの腫れ・痛み、リンパ節の腫れ、目やに・涙・充血などの結膜炎症状。吐き気・腹痛・下痢。

④溶連菌感染症

急な発熱(38～40℃)頭痛・のどの痛み・食欲不振・吐き気などの風邪のような初期症状から、のどや口内が真っ赤になり、舌もいちご舌に。また扁桃腺に白っぽい膜ができることがある。発症後1～2日後に小さな発疹が全身に現れる。

(参考文献:エンパワーヘルスケアHP 夏に気をつけたい子どもの感染症より)

今月の壁面飾り♪



保育室には保育士が作成した壁面が飾ってあります。1～2か月毎に季節に合わせて作成しています。ご利用の際は是非ご覧になって下さいね！！
7.8月は南国ラッコのアロハな音楽隊です♪

小児BLS研修を開催しました！

H27.5.21緊急時の対応を学ぶため、救命救急センターの山尾学看護師をお招きし、乳児・小児に対する心肺蘇生法を学びました。定期的に行っていききたいと思います。



「のんの」に関する疑問・質問など、お気軽にお問い合わせください

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター/病児・病後児保育室 のんの
〒078-8510

北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

病児・病後児保育室のんの TEL:69-3245(内線3245)
二輪草センター TEL:69-3240(内線3240)

E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

受付時間 7:45～18:00